



# MBT NEWS LETTER

第160号  
'22/08/05

## 10月28日(金) 第48回技術士全国大会（奈良・関西）で 細井理事長と梅田研究教授が特別講演

- ・技術士制度の普及、啓発を図ることを目的とし、創立71年を迎える我が国で唯一の技術士による公益社団法人日本技術士会(会長：寺井和弘) 第48回目の技術士全国大会は、10月28日（金）～31日（月）に、なら100年会館とホテル日航奈良で開催されます。
- ・本大会の10月28日（金）午後、細井裕司理事長と梅田智広研究教授は下記の内容で医工連携特別講演を行う予定です。
- ・当日の参加費は2,000円です。詳細は [https://www.engineer.or.jp/c\\_topics/008/008726.html](https://www.engineer.or.jp/c_topics/008/008726.html)

### 01 MBT:医学を基礎とするまちづくり ～医学による産業創生、国と地方の活性化～

奈良県立医科大学 理事長・学長  
一般社団法人MBT コンソーシアム 理事長

細井 裕司



「医学とは人を研究する学問、人を知る学問」です。工業製品の80%以上は人が直接使うものです。「新製品を作る前に人(医学)を知りましょう」と工学系の方や企業の方に呼びかけています。MBTとMBE(医学を基礎とする工学・産業創生)の発想は、2004年の軟骨伝導聴覚の発見から生まれました。音伝導経路には気導と骨伝導の2種類があることが知られていましたが、第3の経路の発見はNHKの番組等で450年ぶりの発見として取り上げられました。このような学問的成果は「論文執筆」で終わりにせず、世界初の音響・通信機器となって人の手元に届いて始めて人の役に立ちます。MBTの理念と実際をお話したいと思います。

### 02 MBT×医工連携の未来 ～社会と産業はこう変わる～

奈良県立医科大学MBT研究所  
副所長・研究教授

梅田 智広



演者は生体材料研究から始まり、複数の民間および大学勤務を経験し今に至る。現在はデジタルヘルス領域まで研究分野を広げ技術創生から商品化フェーズまで積極的医工連携体制のもと事業化を進めている。本講演では過去の具体取組事例から現在のデジタルヘルス分野の取組まで、MBT×医工連携視座から解説する。特に予防医療/ヘルスケア対策における世の事業化への期待は大きく、課題解決に向けたICT、IoTなど最新技術の活用による新たな社会そして産業が求められる。MBT×医工連携は新しい社会そして産業を生み出す原動力になるのか。全国各地で行ってきた様々な実証事例を通じ、ニューノーマル時代に向けた医工連携体制のあるべき姿を考える。

## “奈良医大”と“やまと真空工業(株)”が共同開発した銅合金マスクが 奈良医大附属病院内のローソンでも販売開始しました！

- ・MBTニュースレター第152号でオミクロン株の不活化評価をお知らせしたMBTロゴマーク入りの銅合金マスクの、購入場所の問い合わせが事務局にも多く寄せられていました。
- ・8月2日（火）より、奈良医大附属病院内のローソンでも購入ができるようになりましたのでお知らせいたします（下写真）。



↑本写真は共同通信社から購入済です。



発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、  
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内  
TEL : 0744-29-8853 (直通)、FAX : 050-3164-5598、

(公立大学法人) 奈良県立医科大学  
担当 塩山

Email: [mbt@mbt.or.jp](mailto:mbt@mbt.or.jp)